

交通計画課長



副課長



鉄道事業室長



室員



復 命 書

令和7年6月23日

千葉県知事 熊谷俊人 様

所 属 総合企画部交通計画課

職氏名 主事 田中 大樹

行政実務研修員 植村 勇斗



私は、命により旅行したところ、その概要は下記のとおりでした。
以上復命します。

記

- 1 用 務 北総鉄道株式会社第53期定時株主総会
- 2 旅 行 先 北総鉄道株式会社 本社1階会議室
- 3 旅行期間 令和7年6月20日（金）
- 4 概 要 決議事項3点について、異議無く承認された。
詳細は別添のとおり。

1 総会成立の報告

- ・定款の定めにより、持永社長が議長を務める。
- ・有効議決権数は必要数に達しており、総会が定足数を満たす旨の報告。

○出席株主数：15 名（委任状提出者も含む）

＜株主総数 15 名＞

○有効議決株式数：49,800 千株

＜発行済株式総数 49,800 千株＞

2 監査報告

小山常勤監査役による監査報告。監査の結果、指摘する事項はなし。また、独立監査人によると、全ての重要な点において適正に表示していると報告を受けている。その監査の方法及び結果は相当であり、指摘すべき事項はない。

本日の株主総会に提出している議案及び書類については、いずれも法令及び定款に適合しており、指摘すべき事項はない。

3 事業報告

持永社長より、第 53 期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の事業報告、貸借対照表及び損益計算書等について説明。

4 質疑応答等

印西市・藤代市長

令和 4 年に運賃値下げという英断があった中で、第 53 期決算においても増収増益されたことについて、株主として評価したい。また、沿線市の立場としても運賃値下げは市民からも感謝の声が上がっており、改めて御礼申し上げたい。

室谷会長においては、今回の株主総会をもって退任されるということで、前市長時代から沿線自治体に寄り添った対応をしていただき、室谷会長の社長在任中に運賃値下げも敢行され、改めて感謝の意を表したい。新経営陣においても室谷会長が築かれた沿線自治体との良好な関係を継続していただきたい。

印西市内の 3 駅については利用者数が増加しており、特に印西牧の原駅については、近年駅周辺の開発が進んだこともあり、利用者数の増加が著しい。朝夕時間帯の特急増便やアクセス特急の印西牧の原駅停車について、住民から多くの要望を頂いているため、検討をお願いしたい。

株主と同時に沿線市として、事業環境の改善・向上が大きな使命であると感じており、「北総線沿線活性化トレイン」など協力できるものについては、積極的に協力していきたいと思う。東京圏では 2040 年頃まで人口増加が続くと予想されているため、自治体として入居者を受け入れられる環境を構築していき、北総線の利用者増加につなげられればと考えている。

白井市・笠井市長

本日をもって退任される室谷会長においては、平成 30 年 6 月の社長就任以降 7 年間、沿線地域の発展にご尽力を賜り、感謝申し上げます。令和 4 年 10 月に実施した運賃値下げについてもリーダーシップを発揮していただき、実現することができたものと考えている。特に通学定期の大幅値下げにより、子育て世帯の家計負担が大きく軽減されたことについて、既に 3 年近く経過している現在でも貴社に対して市民から感謝の声を多く聞いている。

さらに、昨年 10 月のダイヤ改正では、夕方の通勤時間帯におけるすべてのアクセス特急が新鎌ヶ谷駅にて普通列車に接続されるようになり、沿線住民の交通利便性の向上が図られた。これもひとえに、持永社長をはじめ、室谷会長など歴代の経営陣・社員の皆様のご尽力によるものであり、感謝している。

当期の株主総会にあたり、事業報告では、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が続いていることに加え、貴社の増収に向けた努力により増収となった。また、物価高騰による営業費用の増加を差し引いても前期に続いて、営業利益が増益となったことについて、大変嬉しく思っている。その他にも安全・安定輸送に向けた設備投資も着実に実施されていることについて、心強く思っている。一方で、未だ 496 億円に及ぶ有利子負債もあるため、本市においても白井駅・西白井駅の駅前再開発推進や沿線活性化に向けた様々な取組を貴社と協力して実施していきたいと思う。

市民からは普通運賃の更なる値下げやアクセス特急の停車などの要望を頂いている。現時点での実現は難しいかもしれないが、貴社と沿線自治体が協力して、沿線の魅力を向上させる取組みを実施していくことで、将来的な実現を検討していただければと考えている。

鎌ヶ谷市・浜田室長（市長メッセージ代読）

本日は鎌ヶ谷市長からメッセージを預かっているので代読する。

（以下、メッセージ）

社長様以下、社員の皆様には、燃料や物価の高騰など不安定な社会情勢が続く中、安全・安心な鉄道輸送という社会的使命を全力で果たしていただいていることについて、心から感謝申し上げます。

貴社が沿線地域の将来を展望される中で、思い切った運賃の値下げを実施されて約 2 年半が経過したが、全体の利用者数の増加が続いており、特に通学定期の大幅な値下げによる、通学利用者の増加は著しいとのことで、こうした地域住民の声に寄り添った取組が、ダイヤ改正等と相まって大きな効果をあげていると思っている。

また今年で 4 回目の実施となる北総沿線活性化トレイン事業についても、成田空港方面から、都心、羽田空港まで、幅広いエリアに地域の魅力を発信することができ、その PR 効果は非常に大きいものと考えている。今後の沿線地域の活性化やにぎわい創出、鉄道利用者の更なる増加につながり、定住促進にも大きく寄与するものと期待している。

本市の今後のまちづくりにおいても、貴社との連携が大変重要であると考えている。新鎌ヶ谷駅の南側では鉄道事業者等の協力により、商業棟 1 棟、オフィスビル 2 棟、マンション 1 棟の建設が決まり、既にその一部の建設工事が始まっている。本事業により新たなにぎわいの創出や地域の発展につながるものと期待している。貴社においては、引き続きまちづくりにご協力いただくようお願い申し上げます。

最後に、貴社のますますのご発展を祈念するとともに、今後も沿線の活性化などに向けて、沿線市、千葉県と共に一層連携を深め、協同のまちづくりが進むようお願いして、私からのメッセージとする。

北総鉄道・持永社長

昨年度決算は、利用者の増加もあり、増益となった。これもひとえに本日の総会にも出席している株主の皆様による長年にわたるご支援の賜物であり、また、ご利用いただいた多くのお客様ののおかげである。改めて感謝申し上げます。

先ほど活性化トレインをはじめとした沿線価値の向上につながる取組や利用者増加につながる施策については、大変心強いお言葉をいただいた。

また、印西市・白井市から要望をいただいたが、こちらは当社としても要望があることは承知しているが、引き続き検討課題とさせていただきたい。

今後とも各市長様からのメッセージをしっかりと受け止め、また自治体の皆様と連携しながら、沿線価値の向上、さらに利用しやすい鉄道、さらに住みやすい地域づくり、これらを目指してまいります。

引き続き皆様からのご支援を賜りますようお願いする。

北総鉄道・室谷会長

本日の株主総会をもって北総鉄道の会長を退任させていただく。過大な言葉をいただいて大変恐縮している。8 年間北総鉄道に在籍させていただいたが、就任当時の株主総会では役員人事に対する反対の意見をいただき、当時は沿線自治体の皆さまと当社の関係は決して良好というわけではなかった。

しかし、本日の株主総会での各自治体からの発言のように、良好な関係が構築されており、大変嬉しく思っている。沿線あつての鉄道会社であると考えており、ますます愛されて、頼りにされる鉄道会社となっていくことを願っている。

5. 議案採決

第 1 号議案 取締役 6 名選任の件

⇒ 異議なく承認可決

第 2 号議案 監査役 2 名選任の件

⇒ 異議なく承認可決

第 3 号議案 退任取締役及び退任監査役に退職慰労金贈呈の件

⇒ 異議なく承認可決

(以上)